

年号	社会福祉法人すぎの芽会沿革	
昭和 27 年 (1952年)	4月	吉成銀策・リン夫妻「すぎの芽教室」開設。(全国初の作業所)
昭和 47 年 (1972年)	10月	「財団法人すぎの芽会」設立。(理事長 吉成銀策氏)
平成 元 年 (1989年)	1月	「社会福祉法人すぎの芽会設立準備委員会」を設置。
平成 2 年 (1990年)	5月	「社会福祉法人すぎの芽会」設立。(理事長 吉成リン氏)
平成 3 年 (1991年)	4月	精神薄弱者更生施設「すぎの芽学園」開所。
平成 4 年 (1992年)	4月	「みずほ福祉作業所」開所。
平成 6 年 (1994年)	4月	「すぎの芽学園通所部」開所。
平成 9 年 (1997年)	4月	「デイセンターすぎの芽」開所。(すぎの芽学園通所部からの独立)
		「デイケアセンター宝木」開所。
平成 10 年 (1998年)	7月	精神薄弱者通所授産施設「富屋作業所」開所。
		在宅精神薄弱者「デイサービスセンターとみや」開所。
	10月	グループホーム「りんりん舎」開所。(宇都宮市初のホーム) (～H18年9月)
平成 11 年 (1999年)	10月	グループホーム「星が丘荘」開所。(～H21年11月)
平成 14 年 (2002年)	10月	グループホーム「きよはら荘」開所。(～H21年11月)
	11月	宇都宮市知的障害者生活支援事業を受託。「富屋作業所生活支援センター」の開設。
平成 16 年 (2004年)	3月	グループホーム「第2きよはら荘」開所。(～R3年4月)
平成 18 年 (2006年)		グループホーム「第3きよはら荘」開所。(～H21年11月)
	10月	共同生活援助・共同生活介護「きよはら荘」を設置。 「富屋作業所生活支援センター」が指定相談支援事業所に移行。
平成 19 年 (2007年)	4月	「すぎの芽職業教室」がデイケアセンター宝木を従たる事業所とし生活介護事業所に移行。
		デイサービスセンターとみやが「サポートセンターとみや」に改称し生活介護事業所に移行。
平成 20 年 (2008年)	1月	栃木県庁昭和館のレストラン運営を受託し「ふくしレストランCIAO」オープン。
	4月	みずほ福祉作業所が「みずほ福祉支援センター」に改称し生活介護事業所に移行。
	10月	「すぎの芽学園」が障害者支援施設(生活介護、施設入所支援)に移行。
		富屋作業所とサポートセンターとみやが統合し、「サポートセンターとみや」として多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型、就労移行)に移行。
		富屋作業所生活支援センターが指定相談支援事業所「サポートセンターとみや生活支援センター」に改称。
平成 21 年 (2009年)	12月	グループホーム「やまと荘」開所。
平成 23 年 (2011年)	12月	「デイセンターすぎの芽」が多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型、就労移行)に移行。
平成 24 年 (2012年)	7月	グループホーム「おかもと荘」開所。
		共同生活援助・共同生活介護「きよはら荘」の再編成(3ホーム)。
平成 25 年 (2013年)	4月	「サポートセンターとみや生活支援センター」が指定特定相談支援・指定障害児相談支援の事業開始。
		パン工房「ちやお丸」オープン。
平成 26 年 (2014年)	4月	障害者総合支援法により、共同生活援助「きよはら荘」に移行。
		すぎの芽職業教室とデイケアセンター宝木が一条に統合し、「ドリームセンター一条」として多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型、短期入所)に移行。
平成 29 年 (2017年)	9月	地域密着型特別養護老人ホーム「なつぼ」と通所介護「あじさい」開所。
令和 元 年 (2019年)	3月	居宅介護支援事業所「あじさい」開所。
令和 2 年 (2020年)	4月	グループホーム「クラッソー条」新築開所。
		共同生活援助「きよはら荘」の再編成(4ホーム)。

令和 3 年 (2021年)		グループホーム「第2きよはら荘」が新築移転し「りびん竹下」に改称。
	4月	「サポートセンターとみや生活支援センター」が委託相談支援事業を廃止。新たに指定一般相談支援事業を開始。
令和 4 年 (2022年)	7月	「サポートセンターとみや生活支援センター」が宇都宮市宝木町に移転。
令和 5 年 (2023年)	8月	「サポートセンターとみや生活支援センター」が宇都宮市障がい者生活支援事業拡充の為に委託業務を受託。